

肌の『緩和ケア』と肌の『健康を目指すケア』の違い

肌の緩和スキンケアと肌の健康を目指すお手入れケアでは、目的やアプローチが全く異なります。

●肌の緩和スキンケア

目的:

- 肌の不快感や赤み、かゆみ、乾燥などの症状を一時的に、かつ即効的に和らげ、短期的な快適さを提供することを目指します。

アプローチ:

- 多くのスキンケア専門家や研究者は、肌トラブルの多くは乾燥が根本原因であると考えています。乾燥肌は皮膚バリア機能が弱まり、その結果、赤みやかゆみ、炎症などのトラブルを引き起こすことが多いのです。しかし、皮膚バリア修復・強化では即効性はありません。即効性を出すためには、まず水分を補給し油分でフタをして乾燥を防ぎます。一時的にでも肌の乾燥を即効的に緩和することができ、他の症状も和らげることができます。
- 即効性を優先するためには、特定の問題に対処する有効成分(例: 抗炎症剤・保湿剤・ピーリング剤・抗酸化剤など)を含む製品を使用し、利便性を重視するため、どうしても皮膚バリアに負担がかかる合成界面活性剤を使うことが多いということを理解することが重要です。

●肌の健康回復ケア

目的:

- 皮膚バリアの構造を修復・強化し、肌の自然なターンオーバーによって、持続的な肌の健康『丈夫な、つまりバリア機能のある角質層』の形成を目指します。

アプローチ:

- **長期的な効果:** 即効性よりも持続的な効果を重視。そのために、まず皮膚バリアの修復・強化から始めます。
- **リノール補給・合成界面活性剤不使用:** リノール酸を含む合成界面活性剤不使用のエマルジョン製品を使用し、持続的な肌の健康『丈夫な、つまりバリア機能のある角質層』の形成を促進します。長期間の使用を考慮し、合成界面活性剤不使用です。

肌の緩和スキンケアは肌の不快感や赤み、かゆみ、乾燥などの症状を一時的に、かつ即効的に和らげ、短期的な快適さを提供することに重点を置きますが、健康回復ケアは皮膚バリアの構造を修復・強化し、肌の自然なターンオーバーを高め、持続的な肌の健康『丈夫な、つまりバリア機能のある角質層』の形成を目指します。